

論文の出題分野（最近2か年）

日 程	2025年度入試	2024年度入試
A日程 (8月)	『客観性の落とし穴』 ①全体論旨を踏まえた架線部の説明 ②著者の考えについての説明	『リスクを考える —「専門家まかせ」からの脱却』 ①要約 ②方策についてのあなたの見解
B日程 (9月)	『思考の方法学』 ①2つのモデルの対比説明 ②要約	『思考停止社会 —「遵守」に蝕まれる日本』 ①論旨説明 ②説明とあなたの意見
C日程 (2月)	未公開(許諾申請中)	『心的外傷と回復』 ①要約 ②社会の対処についてのあなたの見解

傾向と対策

A) 傾向

- 文章の要約や論旨説明が中心。下線部等によりポイントが示されている場合もある。著者の見解の正確な理解と説明が必要。
- 法律知識は問わないが、法曹志望者に考えてもらいたい社会的テーマが選ばれている。

B) 対策

- 著者の考え方を論旨に沿って素直に理解し、限られた字数内でバランスよく、かつわかりやすく説明することの訓練。キーワードは欠かせないが、論旨の通る咀嚼した日本語の表現が肝腎。
- 社会問題に関心を持ち、専門以外にも視野を広げてほしい（ニュース、新書等）
- 設問の中で出題者が解答を求めていることが示されているので、設問をよく読み、問われていることに過不足なく答えること。

憲法の出題分野（最近2か年）

日 程	2025年度入試	2024年度入試
A日程 (8月)	設問1: 語句説明問題 設問2: 事例問題 卒業式における国歌の起立斉唱強制と 思想・良心の自由 (君が代起立斉唱拒否事件事件)	設問1: 語句説明問題 設問2: 事例問題 宗教団体に対する解散命令と 信者の信教の自由 (オウム真理教解散命令事件)
B日程 (9月)	設問1: 語句説明問題 設問2: 事例問題 裁判傍聴時のメモ採取の禁止と 筆記行為の自由 (レペタ事件)	設問1: 語句説明問題 設問2: 事例問題 風俗案内所の営業禁止区域の設定と 営業の自由 (京都府風俗案内所条例事件)
C日程 (2月)	設問1: 語句説明問題 設問2: 事例問題 裁判所による取材フィルムの提出命令と 報道機関の取材・報道の自由 (博多駅事件)	設問1: 語句説明問題 設問2: 事例問題 風俗を害すべき書籍・図画の一律輸入規制(税関検査)と 検閲・知る自由 (札幌税関検査事件)

傾向と対策

A) 傾向

- 人権分野からの出題がほとんど。
- 事例問題がメインだが、2022年度入試から語句説明問題も出題。語句説明問題は統治分野からの出題が中心。
- 事例問題では、基本的な論点（いわゆるAランク論点）について理解を問うものが多い。主要判例の知識があれば解答は可能。

B) 対策

- 基本的知識（概念・定義など）を正確に理解すること。
⇒ 教科書1冊を丁寧に読んでおこう！
- 事例の事実関係から論点を発見できること。
⇒ 主要な判例と学説を知っておこう！
- 基本的知識を用いて、事例の分析ができること。
⇒ 演習書を使って実際に事例問題の練習をしよう！
* 尖戸常寿ほか編『憲法演習サブノート210問』や関学LS過去問がおすすめ。

民法の出題分野（最近2か年）

日 程	2025年度入試	2024年度入試
A日程 (8月)	〔設問1〕 詐欺取消しと錯誤取消し 〔設問2〕 不当利得返還請求(いわゆる転用物訴権)	〔設問1〕 動産物権変動と即時取得 〔設問2〕 贈与契約の解除と解除の意思表示と強迫
B日程 (9月)	〔設問1〕 賃貸借の対抗力 〔設問2〕 賃借人の交代と敷金の承継 〔設問3〕 嫡出推定と嫡出否認の訴え	〔設問1〕 無権代理 〔設問2〕 無権代理と相続 〔設問3〕 危険負担および解除
C日程 (2月)	〔設問1〕 詐害行為取消権 〔設問2〕 責任無能力者の行為と民法714条の監督義務者責任	〔設問1〕 債務不履行責任に基づく損害賠償請求 〔設問2〕 共有物分割請求

傾向と対策

A) 傾向

- **基本的な論点および民法の原則**についての理解を問うものが多い。**民法の諸原則および主要判例**の知識があれば解答は可能。
- **改正民法**からの出題が多くみられる。
- **家族法**からの出題も見られる。

B) 対策

- 基本的知識(概念・定義など)を正確に理解していること。
⇒1冊で民法全体(家族法含む)をカバーしている本などで基礎を学習、
例えば潮見佳男『民法(全)第3版』(有斐閣)など。
- 主要な判例を知っておくこと！
⇒『判例百選Ⅰ～Ⅲ 第9版』(有斐閣)あるいは
『判例30!』(有斐閣)×①～⑤くらいには目を通しておく(いずれも家族法含む)。
- 基本的知識を用いて、事例の分析ができること。
⇒演習書を使って実際に事例問題の練習をしよう！
『民法演習サブノート210問 第3版』(弘文堂)(家族法含む)などがお勧め。

刑法の出題分野（最近2か年）

日 程	2025年度入試	2024年度入試
A日程 (8月)	〔設問1〕 論述問題 詐欺罪の財産的損害 〔設問2〕 事例問題 共犯関係、窃盗と強盗	〔設問1〕 用語説明 横領と不法領得の意思 〔設問2〕 事例問題 遅すぎた構成要件実現、共犯
B日程 (9月)	事例問題 殺人、放火、錯誤	事例問題 窃盗、事後強盗、共犯
C日程 (2月)	事例問題 強盗傷人、2項強盗、事後強盗、共犯	事例問題 背任、共犯

傾向と対策

A) 傾向

- 事例問題では、罪責を問うものが出題されている。
- **A日程**では、加えて短めの論述問題が出題されている。
- 事例問題は、裁判例の事実関係をもとに作成されているものが多く、**基本的な論点**についての理解を問うものである。

B) 対策

- **基本的知識**と「**判例**」の正確な理解は必須である。
⇒ 教科書1冊通読 + 判例の重要な事実をおさえること。
- 事例の事実関係から**論点**を発見する力を身につける。
⇒ 学説が条文や「判例」との関係で何故その点を議論しているのかをおさえること。
- **事例の分析**ができる力を身につける。
⇒ 演習書を使って実際に事例問題を解く。
* 学部の授業で使用した教材や市販の教材(Law Practice 刑法など)。

商法の出題分野（過去2年分）

日 程	2025年度入試	2024年度入試
A日程 (8月)	一部の取締役に対する招集通知を欠く取締役会決議の効力	- 取締役の利益相反取引の手続(会社356条1項2号、365条1項) - 利益相反取引に関与した取締役の会社に対する責任(会社423条)
B日程 (9月)	- 議決権行使の代理人資格を自社の株主に限る旨の定款規定の効力 - 他の株主に対する瑕疵を理由とする株主総会決議取消しの訴え提起の可否	- 株主提案権(議案提案権、会社304条)の手続及び行使要件 - 株主提案が無視された場合の株主総会決議の効力
C日程 (1月)	- 株主名簿の名義書換未了の株式譲受人の地位 - 会社の過失による株主名簿の名義書換未了と株式譲受人の地位	- 株主の権利行使に関する利益供与(会社120条1項)と株主総会決議の効力 - 違法な利益供与と取締役の会社に対する責任

傾向と対策

A) 傾向

- 出題範囲(法令)は会社法(会社法施行規則)のみ。
- 会社法における1つないし2つの典型論点が出題される傾向が強い。
- 必ずしも最高裁判例が存在しないような論点が出題される場合もあるが、最高裁判例のある論点が出題される可能性が高い。
- 設問は常に2つ。〔設問1〕では、**制度趣旨**や**要件・手続**等が問われることが多く、〔設問2〕では、事例問題における当てはめが出題される。

B) 対策

- 薄くても構わないので、**基本書を1冊**しっかりと精読することが必要(司法試験受験者に定番の基本書、学部で使用した基本書等、なんでも構わないが、最新のものが望ましい)。
- 基本書を読む中で、必要に応じて**判例百選**で重要判例をチェックする。
- 市販の問題集(Law Practice 商法など)で、起案の練習をする。
→ 必須ではないが、やっておくとLS入学後に楽になる？